官製談合事件の真相究明を

新たな事実の調査、市の責任で実施し、市民に公表すべき

先ず、官製談合事件を明らかにせずに府中市長選挙が行われたことについて、市長の政治的、道義的責任を問いました。市長は、「公表できる状況ではなかった。捜査次第では市長選の前後での逮捕も十分にあり得たので、政治上の問題等の指摘はあたらない」との答弁でした。

さらに、「公判で明らかになった新たな事実（以前からの漏洩と他の議員への漏洩）について、市として調査して市民に説明する責任」についての問いかけました。しかし市長は、「再発防止対策のための調査は、第三者機関で行っている。新事実に対する調査は、再発防止対策のための調査とは異なる。警視庁に確認したところ、『新たな事実については当事者逮捕当時から捜査をしており、捜査は既に終結している』とのこと。捜査は尽くされたものと認識しており、市として、改めて調査は行わない」との答弁でした。

最後に、「新事実を調査究明し、談合の背景を明らかにする。これが警察にはない行政として課せられた責務だ」と指摘し、市としての調査の実施を重ねて求めました。

一般質問の動画配信 QRコード

困窮者への支援、市の冷たい姿勢

府中市での独自の給付金「実施の予定はない」

新型コロナウイルス感染症のまん延が1年以上続き、暮らし、営業への影響は深刻さが増す中で、市民の命と暮らし、生業を守ることをどのように府中市が考えているのか、その姿勢を問いました。

多くの労働者の生活困窮や学生への支援が必要な切実な状況を訴え、府中市独自の給付金の検討をするのか聞きました。市は「給付金は一時的な生活の維持を図ることはできるが、長期での安定的な生活の維持は困難」「実施の予定はない」と断言し、大変冷たい姿勢を明らかにしました。狛江市（大学生1人あたり5万円給付）や武蔵野市（全市民に応援券配布）のように、財政調整基金を活用し独自の給付金を行うことを求めました。

生活保護制度の普及として、申請のためらいの原因である「扶養照会」について、扶養親族からの経済的な支援は関係性が破綻している場合、金銭的な支援につながらないことを市は把握しており、必要のない照会を行わない柔軟な対応を求めました。

一般質問の動画配信 QRコード

少人数学級をさらに前に進めよう

日本共産党がこれまで多くの学校関係者や保護者の願いとして要望してきた「少人数学級」が段階的ではありますが、前進しました。感染症予防として距離を空けるのであれば20人程度が望ましく、学習でも少人数の方がより効果的に理解を深めることができます。

国は35人学級を2025年度までに小学校全学年で導入するとしています。府中市の中学校では学級あたりの平均生徒数が35人を超えており、国の議論を加速させ中学校への導入も早期の実現が求められます。

府中市内の小・中学校に通う児童・生徒の人数が減っている地域と増え続けている地域があり、学校の適正規模・適正配置を検討する協議会では統廃合や学区編成についても議論が行われています。学校の周辺環境（マンション建設など）については、市が計画的にまちづくりを行っていく責任があります。

子どもたちは長期にわたるコロナ禍の影響を受けています。心のケアとしても少人数学級をさらに前進させていくために市民の声を広げていきましょう。

ワクチン頼みのコロナ対策では不十分

ワクチン接種は90歳以上の高齢者から開始されますが、府中市に最初に届くワクチンの数はわずか975人分しかありません。すべての市民が接種を受けられるスケジュールはまだ不明確です。

ワクチン接種の予約が4月15日から開始されましたが、共産党市議団には「何度電話してもつながらない」「60回電話してやっとつながった」などの声が届いています。

電話の回線数を増やし受付窓口を強化するなど、接種予約の方法の改善も急がなければ大混乱になることが予想されます。

また、新たに感染が広がっているコロナウイルスの変異株はワクチンの効果がないものも出現しており、子どもや若者にも重症化のリスクがあることが大きな懸念となっています。

コロナ対策としてはワクチン頼みでは不十分です。感染の拡大を把握するためのPCR等検査の数を抜本的に増やすことや、変異株のスクリーニング検査の拡大は欠かせません。

東京都では高齢者・障がい者支援施設等へ週1回の集中的・定期的検査のための直接的な補助を拡充しました。府中市でも積極的な補助支援を行うことがコロナ対策として切実に求められています。

＊ 議 会 雑 感 ＊

「生理の貧困」がコロナ禍で問題として提起されました。他市でも避難所の備蓄用のナプキンを買い替えする際、無償で提供する動きが出ています。しかし、府中市では今回の買い替えで早々に破棄処分してしまいました。オムツは利活用されているのに何故ナプキンは捨てられてしまったのか、女性の視点が圧倒的に足りていません。こうしたことも逐一指摘しなければならないのはとても残念でなりません。ジェンダーギャップを自治体として向上させていく努力が必要だと強く感じました（た）

主な議案・意見書に対する各会派の態度

○：賛成　×：反対

	2021年度一般会計予算	2021年度国民健康保険特別会計予算（国保税値上げ内容含む）	府中市立体育館条例の一部を改正する条例（朝日体育館の廃止）	安全・安心の医療・介護の実現と国民の命と健康を守るための意見書の提出についての陳情
日本共産党	×	×	×	○
生活者ネット	×	○	○	○
市政会（自民党）	○	○	○	×
市民フォーラム	○	○	○	○，×（※1）
公明府中	○	○	○	×
自由クラブ	○	○	○	○
都民ファースト	○	○	○	×
市民の風	×	○	○	○
結果	可決	可決	可決	不採択

※1：○ 稲津議員　前川議員
　　× 清水議員　須山議員　手塚議員　西宮議員　村崎議員